

# ゆめ・わく・わく通信

No.3

2014年1月31日発行

◇発行者：船引南地区幼・小・中連携推進委員会（担当 芦沢小学校）

## 1 幼稚園保育参観(平成25年11月18日) in 船引南幼稚園



芦沢幼・小・南中学校の先生方が参観し、研修を深めました。前半は、空箱で車を作り、積み木やマルチパネを利用してサーキットコース作成後、車を走らせ、後半は、1年生といっしょに、自分たちで作成したパズルで遊ぶなど、一人一人が楽しく取り組むことができました。参観者からも「子どもたちのイメージを実現させ、楽しむ姿は素晴らしいと思います。子ども同士車作りを教え合う姿が見られました。」など感想が寄せられました。

## 2 学校保健委員会(平成25年11月28日) in 芦沢小



学校医、学校歯科医、学校薬剤師、市保健師、南小・中・芦沢小のPTA代表、スクールカウンセラー、教職員が参加し、地区の子どもたちの健康について話し合いがありました。各学校の特に、児童生徒の「肥満」「視力低下」「むし歯」の状況について話題となりました。

各校の実態に合わせて、改善に向けて取り組むこととしました。

## 3 「地域に学ぶ」体験学習(平成26年1月23日・30日) in etc



船引南地区の方々の指導と協力を得て、「坐禅、茶の湯、光る泥だんご等体験、大正琴、民話、インドヨガ、郷土料理教室、ペン立て作り」の体験学習が行われました。特に「坐禅」を体験した子どもたちの様子が印象に残りました。最後にみんなで、お茶を飲み片付ける場面です。中学生が率先して「自分が片付けます。」そして、それを小学生もいっしょに片付けていました。言われたのではなく、自ら行動できる子どもたち、本当に素晴らしいと思いました。専門家に本格的に習う体験、本物に触れるよい機会となるとともに、子どもたちの自主性の高さを再確認できた体験学習でした。